

# 各機関の取組事例紹介

# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策～護岸工の整備～

洪水を安全に流下させるため護岸工を整備

二級河川 中津川（佐渡市千種地内）



二級河川 中津川（佐渡市千種地内）



# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策～河川内の掘削・伐木～

## 河川内に堆積した土砂を掘削・撤去

二級河川 国府川（佐渡市新穂長畝地内）

着手前



竣工



二級河川 小倉川（佐渡市金丸地内）

着手前



竣工



# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策～河川内の掘削・伐木～

## 支障となる中低木を伐採・撤去

二級河川 梅津川（佐渡市梅津地内）

着手前



竣工



二級河川 梅津川（佐渡市梅津地内）

着手前



竣工



# 平時から住民等への周知・教育訓練に関する取組

小中学校における「マイ・タイムライン教室」の実施（3校、計4回実施）



# 洪水氾濫を未然に防ぐ対策～田んぼダムの取り組み範囲の拡大～

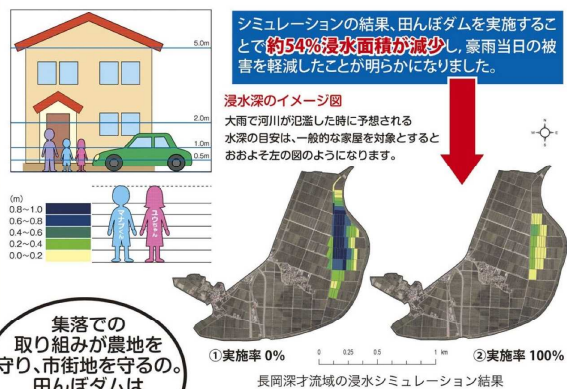


佐渡で田んぼダムを実施している区域 212ha (R5年度)

## 「田んぼダム」を活用し チカラを合わせ地域防災!

排水調整により多くの農作物は守られ、また下流域の住宅街への浸水を減少させます。

田んぼダムは集落がチカラを合わせ、推進することで既存の排水機に頼るだけでなく、田んぼの貯水機能を活かし、排水を調整することで地域防災に取り組みます。



集落での取り組みが農地を守り、市街地を守るの。田んぼダムは地域防災に役立つのよ。

みんなで協力だね!

### 田んぼダムに取り組んでいる農家さんの意見

- 調整板を設置していても耕作に影響はありませんでした。
- 調整板を取り付けるだけなので、手軽に取り組みました。
- みんなで取り組みれば洪水を緩和する効果があると思います。

## 水量調整にはこんな方法があります。

### 落蓋方式

排水機の底に穴の空いた板材を設置する方法。穴の大きさは50mm程度で、板は合板やアクリル板を使用し、自作も可能です。



### 立板方式

排水機の溝に穴の空いた板材を設置する方法。穴の大きさは50mm程度で、板は合板やアクリル板を使用し、自作も可能です。



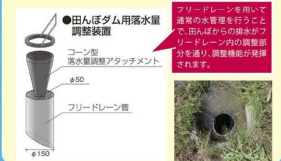
### 片浮かせ式

田んぼの水管理のための調整板に調整用具で「隙間」を作る方法。田んぼの面積で隙間の大きさを変更します。専用の調整用具が必要です。



### フリードレーン式

田んぼの水管理をフリードレーンで行っている場合に、田んぼダム用フリードレーンに変更する方法です。田んぼダム用のフリードレーンが必要です。



※水量調整資材の購入費用は500円～3,000円くらいで、自作も可能です。

田んぼダムの費用はどれくらいかかるのかな?

農作物と都市部の連携が地域防災のカナメだね。

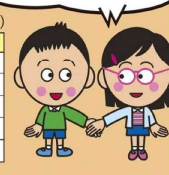
維持管理の費用は・・・

田んぼダムを設置することにより発生する維持管理作業は、通常の総括管理に要する費用を除くと、田んぼ1枚あたり年間30分以下の作業時間で、金額に換算すると、1,000円以下です。

その主なものは、畦畔・排水併補償費用です。また、多目的機能支払で資材購入や維持管理の費用をまかなうことも可能です。

※田んぼ1枚の大きさを50とした場合 ※軽トラック1台分使用

維持管理に要する作業時間等 (50a当り)	作業時間/年	費用換算/年
調整板設置確認	1.5分	20円
畦畔・排水併補償	23.6分	700円
調整板撤去	3.4分	150円
広報活動	0.4分	5円
計/年	29分	875円



### R5田んぼダム取り組み区域 (佐渡市)

取組主体	取組面積 (ha)	備考 (関係土地改良区)
外山地区活動組織	0.7	
城腰・野崎環境保全会	4.0	両津土地改良区
赤玉保全会	7.4	
北田野浦地区活動組織	20.0	
東野環境保全会	1.1	国仲西部土地改良区
下梅津水と緑を育てる会	39.0	両津南部土地改良区
上横山みどり保全会	15.0	長江川水系土地改良区
立野保全会	2.0	長江川水系土地改良区
水津保全会	13.0	
片野尾地域保全会	33.0	
中興地区資源保全会	18.7	金井土地改良区
大和環境保全会	0.5	
横谷保全隊	15.2	吉井土地改良区
佐渡畑野東部活動組織	6.0	新穂村土地改良区
金丸資源保全会	4.0	
大立農用地保全会	10.0	真野土地改良区
強清水農業互助会	4.9	
羽茂川水系保全会	0.2	羽茂土地改良区
山田中集落協定	15.2	
大久保集落協定	2.0	
20	211.9	

## (取組状況) 令和5年度水防団員の訓練状況

令和5年4月9日 消防団幹部研修



令和5年5月28日 新入団員研修



# 令和5年度の取組状況と課題

## 1 水防訓練の実施（消防団員）

新入団員、現役団員による水防訓練を実施  
（工法の習得と技法の伝承が必要）

## 2 関係機関と合同訓練を実施

集中豪雨による洪水、土砂災害を想定し関係機関と  
合同で避難行動要援護者安否確認、避難訓練を実施

## 3 消防団員の不足と人員確保

全国的に消防団員の確保が喫緊の課題

(1) 入団加入促進事業の実施（ポスターなどを掲示）

(2) 新卒者対象の研修などで消防団員を募集

(3) 島内事業者に対して消防団活動への協力と入団促進  
を依頼

## 氾濫を出来るだけ防ぐ・減らすための対策

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 新潟水源林整備事務所

### 水源林造成事業による森林整備

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・佐渡地域における水源林造成事業地は、58箇所（森林面積 約2千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。
- ・令和5年度実績は、除伐17ha、間伐34haを実施しました。令和6年度も引き続き森林整備を実施していきます。



除伐実施後



間伐実施後



間伐実施後

# 浸水被害を未然に防ぐ対策 ～雨水管渠整備～

社会資本整備総合交付金事業  
災害に強く豊かな環境を育む安全・安心な地域づくり（防災・安全交付金）

沓掛川排水区(佐和田)

(2024年3月撮影)

